前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏(法人	にあって	は名称)			法人にあっては主たる 108-8410	る事業所の所在地)	
名 三菱自	動車工	業株式会社			100-0410 京都港区芝浦三丁目	1番21号	
本票作成	部署名:	企業環境部 動	力環境(水島)	グループ			
主たる業	種コート	31 業種名:	輸送用機械器具	具製造業			
事業の概 要	自動車勢生産		京(平成30年度)	、従業員数	3,719人(令和1年	三7月1日時点)	
県内の	番号	番号 工場等の名称			所 在 地		
	① 水	:島製作所	島製作所		倉敷市水島海岸通一丁目1番地		
主な							
工場等							
特定事業	者旦①	燃料等原油換算1,	500kl以上 🗌 ②	バス・トラック100	台、タクシー250台以上	□ ③CO₂換算3,000t以上	
の該当要	件 (●	工場等の数	1 所	●車両	両台数(②該当の場	台) 台)	
温室効果な	っ 其淮	年度(平成 26	年度) (平	·成 30)年	F度排出量 目標年	度(令和 1 年度)	
排出量	本 年	+及(+)及 20 148, 248 t	, , ,		512 t CO ₂	123, 986 t CO ₂	
1971年	番号		場等の名称	110, 0		年度排出量	
	(1)				118,612 t CO ₂		
		7,140,32,117,71				t CO ₂	
主な工場	等 ——						
の排出量	·						
						t CO ₂	
						t CO ₂ t CO ₂	
						t CO ₂	
						t CO ₂ t CO ₂ t CO ₂ t CO ₂	
削減目標	計画		^工 成 27 年度	~	令和 1 年度	t CO ₂ t CO ₂ t CO ₂ t CO ₂	
削減目標達成状泡	計画の記して	総排出量基準	(30)年	~ 定削減実績	目標削減率	t CO ₂ t CO ₂ t CO ₂ t CO ₂ (5 箇年度) 目標達成	
	計画の記して		1	~ [连削減実績] %		t CO ₂ t CO ₂ t CO ₂ t CO ₂	
達成状況	計画の品	総排出量基準原単位基準	(30)年	%	目標削減率 5.0 % 原単位当た	t CO ₂ (5 箇年度) 目標達成 ☑達成 □未達	
達成状? (原単位基 の削減目標	計画の兄温室変	総排出量基準 原単位基準 加果ガスの排出量と 温室効果が 水排出量 指	(30)年 12.7 密接な関係をもつ値 標(生産台数)原単位	% 道の内容 基語	目標削減率 5.0 % 原単位当た 準年度 (30	t CO ₂ (5 箇年度) 目標達成 □ 達成 □ 未達 □ 排出量) 年度 目標年度	
達成状況	かれる 単をる 準年 を る 本 準 年 の 記	総排出量基準 原単位基準 加果ガスの排出量と 温室効果が 本排出量 指 度 148, 248tC02 3:	(30)年 12.7 密接な関係をもつ値 標(生産台数)原単位 36,800台 440kgC02/台	% 直の内容 基 3	目標削減率 5.0 % 原単位当た 準年度 (30 440 384	t CO ₂ (5 箇年度) 目標達成 ☑達成 □未達 ②排出量)年度 目標年度 418	
達成状? (原単位基 の削減目標 選択してい 場合に記入	かれる 計画	総排出量基準 原単位基準 原単位基準 東ガスの排出量と 温室効果が ス排出量 指	(30)年 12.7 密接な関係をもつ値 標(生産台数)原単位 36,800台 440kgC02/台	% 道の内容 基語	目標削減率 5.0 % 原単位当た 準年度 (30 440 384	t CO ₂ (5 箇年度) 目標達成 ☑達成 □未達 ②排出量)年度 目標年度 418	
達成状? (原単位基 の削減目標 選択してい 場合に記入	の兄 進をる) 温室変 基準年月 まま	総排出量基準 原単位基準 原単位基準 東ガスの排出量と 温室効果が ス排出量 指	(30)年 12.7 密接な関係をもつ値 標(生産台数)原単位 36,800台 440kgC02/台 95=418kgC02/台	% 直の内容 基 3	目標削減率 5.0 % 原単位当た 準年度 (30 440 384	t CO ₂ (5 箇年度) 目標達成 ☑達成 □未達 ②排出量)年度 目標年度 418 kg CO ₂ /(台)	

【削減状況の自己評価】

指標の状況

- ・目標削減率の5%は平成26年度(基準年度)の原単位当り排出量を基準に、5ヵ年計画で 達成を目指しており、省エネ法の削減努力目標5年度間平均1%以上低減に合わせている。
- ・平成30年度は基準年度(337千台/年)と比べ生産台数が減少(309千台/年)し、照明等の 生産台数減少してもエネルギー使用量が減少しない固定エネルギー原単位が悪化したが 鋳造体制整備(電気溶解炉等の更新)によるエネルギー効率向上等の省エネ対策がエネル ギー原単位低減に寄与し目標達成となった。

【推進体制】

CEO-環境管理責任者(環境担当役員)- 水島製作所所長-各部長-各課長-推進者

- 各製作所所長

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

【目標削減率達成のために実施	也した措直及ひ今後の取組】
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
【平成30年度に実施した措置】	
運動場	運動場の外灯をLEDに変更し使用電力量を削減する。 (現状)12灯×0.528+96灯×0.451=106.3kw (新設)67灯×1kw+20灯×0.4=75.0kw 効果:現状-新設=(106.3kw-75.0kw=31.3kw 31.3kw××18h/日×20日/月×12ヶ月×0.000691=93tC02
社員駐車場(第一駐車場)	社員駐車場(第一駐車場)の外灯をLEDに変更し使用電力量を削減する。 (現状)40灯×0.25kw=10kw (新設)0.176kw×6灯+0.0478kw×31灯+0.0161kw×3灯=2.6kw 効果:現状-新設=10kw-2.6kw=7.4kw 7.4kw××18h/日×20日/月×12ヶ月×0.000691=22tC02
【令和1年度の計画】	
生産技術本館(第2本館)	生産技術本館の天井照明をLEDに変更し使用電力量を削減する。
同 ナ・ナン・カ・	650灯× (0.08kw 蛍光灯−0.026kw LED) =35.1kw 効果:35.1kw××8h/日×20日/月×12ヶ月×0.000691≒47tC02
厚生センター	厚生センターの天井照明をLEDに変更し使用電力量を削減する。
	400灯×(0.08kw 蛍光灯ー0.026kw LED)=21.6kw 効果:21.6kw××8h/日×20日/月×12ヶ月×0.000691≒29tC02

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内で の取組	無	
その他	有	2006年より山梨県早川町の約3ヘクタールの山林を『パジェロの森』と命名し、森林整備活動(苗木の植栽、草刈り等)を実施。2014年より同町の湯島地区の山林(約7.23ヘクタール)に活動エリアを拡大し継続している。

【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

特になし